



せつない話 / 山田詠美編
光文社，1993.10
(光文社文庫)

しみじみ読むアメリカ文学
/ 平石貴樹編
松柏社，2007.6
(現代文学短編作品集)



本 館 X/080/Ko14/Set
神田分館 /908/Se93/1

本 館 K/930/Sh48
神田分館 /933/Sh48



経営学部 准教授 佐久間由梨 Yuri Sakuma

アメリカにはおよそ 150 年前まで奴隷制が存在していました。黒人の大統領も誕生した現代においてもいまだに、人種偏見や差別が消えることはありません。

アメリカの黒人文学は、人種や差別をめぐる問題を長年にわたり描いてきました。黒人文学と聞くと、重々しいイメージがあるかもしれませんが、ぜひジェイムズ・ボールドウィンという黒人作家の作品、「サニーのブルース」(1957) を読んでみてください。この作品は 1950 年代のアメリカの人種問題を描いていますが、同時に、人種や国家や時代を超えて多くの読者が共感できる普遍性も持ち合わせています。小説の舞台になっているのは、1950 年代には治安の悪いスラム街となりはてていたニューヨークの黒人居住地区ハーレムです。黒人の兄弟——兄とサニー——はともに劣悪な環境を必死に生きていますが、お互いを理解しあうことができません。兄は優等生的な人物で、高校で数学の教師をしながら家族を養っています。一方で、弟のサニーは少しやんちゃで、ジャズ・ピアニストになることを夢見て、朝から晩までピアノ三昧、薬物に手をだし投獄されたこともあります。

兄弟の異なる生き様を描きながら、この作品は「自分らしく生きるというのはどういうことなのだろう」と問いかけてくるように感じます。大学生くらいの年頃だと、きっと共感できると思います。ぜひ手にとってみてください。

